

たかむくの まちづくり

No.37

協議会
広報紙

高椋の人口

世帯数	2,900戸
人口	7,637人
男	3,770人
女	3,867人

R5.12.31 現在

目次

- p2~3…高椋ふれあいまつり
- p4 …クリスマスコンサート
- p5~6…まち協各部会事業報告
- p7 …高椋小学校150周年記念事業関連記事
- p8 …たかむくまめ知識、防災力UPミニ講座ほか





まつり 令和5年 9月17日(日) 開催される

活気あふれるお祭りになりました。





高橋ふれあい 盛大に

今年丸岡高校生がまつりに協力し、



クリスマスコンサート 令和5年12月16日(土)



高校コミュニティセンター ロビーふれあい演奏会 フルーツ&ハーブ ミニコンサート

2024年 3月3日 (第1日曜) 10:30~11:00
6月2日 (第1日曜) 入場無料
9月1日 (第1日曜)
12月1日 (第1日曜)

季節の曲をまじえた
フルーツ&ハーブの
名曲をお楽しみください!



FLUTE 山本 倫博
Harp 山本 真美

高松地区在住夫妻の「フルーツ&ハーブ Duo」による
ミニコンサートです
どなたさまも お気軽にお願いください
(乳幼児から、ご高齢の方までくわしくお聞かせください)

高松地区在住の山本さんご夫妻による
ミニコンサートを定期開催します

歴史文化部会

西大寺お米おくりに参加して

十一月十五日(水) 午前六時半、小雨の中、バスは総員二十八名を乗せ出発しました。

「西大寺お米おくり」は、奈良時代、高柳吉政地区に西大寺の荘園があった縁で、毎年当地から新米を奉納している行事です。今年はコロナ禍も収まり四年ぶりに広く参加者を募集しての開催になりました。

奈良盆地に入ると福井の雨から一転し、小春日和となりました。

西大寺(奈良市)は真言律宗の総本山です。

本堂では管長以下僧侶による法要が営まれ、当地のお米おくりに対する感謝のご挨拶をいただきました。

その後、境内を案内していただき、国宝の宝物などを見学しました。

昼食は奈良ロイヤルホテルで「奈良のお昼ごはん」というランチをいただきました。中でも、飛鳥鍋は、鶏カラの出汁に牛乳を加え調味した奈良の郷土料理で、さつぱりとして優美な美味しさでした。

酬恩庵一休寺(京田辺市)は、臨済宗大徳寺派の禅寺で、一休宋純(一休さん)ゆかりのお寺です。

酬恩庵庭園は、枯山水庭園で国指定名勝になつています。ちなみに、一休さんは、八十八歳で亡くなるまで、森女という女性とここで過ごし、臨終の際には「死にとつない」と述べたと伝わります。



今年の「西大寺お米おくり」は、お天気にも恵まれ有意義な旅になりました。来年も、より多くの方に参加していただけるようお待ちしております。

(山本幸弘)

令和五年度

西大寺お米おくり事業奉納式典報告

日時：令和五年十一月十五日(水)

午前十時～十一時

場所：真言律宗総本山西大寺(奈良市西大寺芝町一―一五)本堂

奉納：コシヒカリ新米三俵

法要出席者

(西大寺)

大矢實圓長老(真言律宗管長)

辻村泰範執事

佐伯俊源執事 以下僧侶

(たかむくのまちづくり協議会)

金崎昭雄会長

高橋哲夫副会長

辻晃市副会長(歴史文化部会部会長)

歴史文化部会会員

高椋地区一般募集参加者二十一名



ふれあい部会

迎春の寄せ植え講座

十二月五日(火)、高椋コミュニティセンターにて、迎春の寄せ植え講座が開催されました。

講師は花壇アドバイザーの浦野先生。今回使用する苗の特徴や植え方、育て方のポイントを教えていただきました。同じ花材でも鉢のどこに入れるかでイメージが変わり、参加者三十人それぞれの個性あふれる寄せ植えが出来上がりました。



花育グループ

わたしの推し花

シレネ・ピンクパンサー(ナデシコ科)

春から初夏までよく目立つ鮮やかなピンクの花を咲かせます。茎は四方八方に這うように広がり生長するので、花壇のフロントや寄せ植えの縁、ハンギングなどにも利用できます。花が咲いた後に花がら摘みをする、また溢れるように花を咲かせます。寒さには強いですが、晩秋に小さな苗を植えつけても、霜が当たらない所でしたら冬越しし、春になると大きく生長します。暑さには弱いので、1年草扱いです。種取りをして直まきでも芽が出ますし、環境が合えば、こぼれ種でも増えるほど丈夫なことも魅力の一つです。





高椋コミセンを出発



丸岡城 ボランティアガイドさんの説明



國神神社 お祓いを受け、神社の宝物を見学



てくてく



お城をバックにパチリ

あんしん部会

てくてく歩こう会
開催される



てくてく歩こう「秋の丸岡城周辺」が、十月二十二日（日）、高椋体育協会・あんしん部会の共催により開催されました。秋晴れのもと、幅広い世代の六十人が参加し、城下町を巡り四百年の歴史に想いを馳せました。

防犯パトロール 令和5年8月26日(土)

今年は、いつもの巡回コースのほかに、ハツ口の地下道を歩いてみました。照明はついているものの、何となく暗く、人がすれ違うのがギリギリの幅でした。

今はほとんど利用する人がいないとのことですが、もし誰かが利用しても安全に利用できるように、何とかできないものかと思いました。今後の課題かと思えます。



高椋小学校一五〇周年記念事業を終えて

たかむくのまちづくり協議会会長

高椋小学校創立一五〇周年記念事業

実行委員会副委員長 金崎 昭雄

今年、高椋小学校は創立一五〇年という節目を迎え、一世紀半の長きに渡る歩み振り返りながら、母校の記憶を確かなものとして高椋地区の更なる発展を願い、夏に「高椋おもいで花火」を打ち上げ、皆さまからご好評を頂きました。卒業生や校区にお住まいの皆さまとともに一五〇年の歩みを共有し、分かち合うことができたと思います。

まちづくり協議会は、全ての一五〇周年記念事業に立ち会わせて頂きました。記念事業にご協力頂いた多くの方々により感謝申し上げます。今後も「地域と学校の連携」を推し進めて行きたいと思しますので、地域の皆さんのご支援ご協力をお願いします。



昭和初期の高椋尋常小学校の思い出

西里丸岡 吉田昭宣氏 寄稿

生前二人の叔父に故郷の昔の思い出の記録を依頼。高椋小学校創立一五〇周年記念してその一部を抜粋したものです。

西里丸岡 吉田 巧

私の小学校入学は昭和四年四月と思う。当時、傘はあつたが、コウモリ傘などめつたに無く、子供は皆スゲで編んだカケボウシなるものを頭から鉢を覆つて通学した。カケボウシには墨で大きな氏名が書いてあり誰だかすぐわかつた。

一年生の読み方(国語)は、「ハナハトマメミノカサカラカサカラスガイマスズメガイマスウシガイマスウシトヒトガイマスウシトウマガイマスハサミガアリマスミノサシガアリマスヒノシガアリマス」で始まり、一年の終わりが2年のはじめには平仮



名になり、漢字も少し入つてきたように思う。

何年生か忘れたが次のような文章があつた。「大日本大日本われら国民九千万は、天皇陛下を神とも仰ぎ親とも慕いてお仕え申す。」一番に何かあつたように思うが、「大日本大日本神代のこの方一度も敵に負けたことなく月日と共に国の光が輝きまざる」等があつた。大半がヒラガナで漢字は一部だつたと思う。

以後、上級生になつても偉人や孔子の話が多く精神的高揚と道徳的な文章が多かつたと思う。

日露戦争での木口小平喇叭手は、死んでも口からラッパを離さなかつた。ほか広瀬中佐の旅順港閉鎖の際の杉野兵曹長への思いやり、中国の三国志を題材にした文章が多く、勇み立つたものだつた。

中でも偉い学者だと思つたのは「はなわほぎち」という人物のことだつた。「眼が不自由なるも大学者となりし人ありはなわほぎちこれなり」で文章全体はすっかり忘れてが、印象に残つている。

一年生の時の担任はH先生で、出身は坪江中川の方だつた。未だ永平寺電鉄が昭和四年には開通してはいなかつたころだつた。学校への通勤に田町から西里の野道を通つて行つたのか。

一年生になつて初めて登校した処「この間までお婆ちゃんのお背中におんぶされていたのに、早やこんなに大きくなつて」と言われたことを覚えている。兄弟が多かつたので、どの子がだれか分からなかつたのでは無いかと思つた。

当時、始業時の朝礼は全員運動場に集まつた。背の高いものから並んだのか定かでないが、とにかく先頭に立つた。ちょうど先生の袴の紐の上辺りに顔が行き、毎日化粧か着物の虫よけの匂いかならないが、息苦しいの

で顔をそむけていた事を覚えている。三学期から級長をさせられた。

一番嫌いな時間は体操と言つた遊戯の時間であつた。「赤い花咲いた 白い花咲いた 照れ照れお天気さん 照れ照れお天気さん」。手を波打せて右へ行つたり、左へ行つたりでジャケラ臭いのと、背が一人抜き出ていた為か、皆と一緒に出来ず、之だけは良く叱られた。

一、二年はH先生、三年はY先生、四年はM先生。丸岡駅前を下宿していたので、柿など持つてよく遊びに行つた。五、六年はT先生だつた。六年の三学期は儀間のHと舟寄のTの三人は課外授業の特訓を受けた。長時間しほられた。

この様な時二二六事件が発生した。麻布の三連隊の兵士が首相官邸に乱入し首相を襲撃し、間違つて、岡田啓介総理の甥松尾伝蔵大佐が殺された。

この頃より満州事変、支那事変と戦線が拡大し、高椋村でも戦死者の村葬が行われるようになった。昭和十六年に大東亜戦争に突入した。この年に尋常小学校から国民学校と改称され、高椋国民学校を卒業し福井工業に入學した。福井工業を昭和十九年四月卒業。

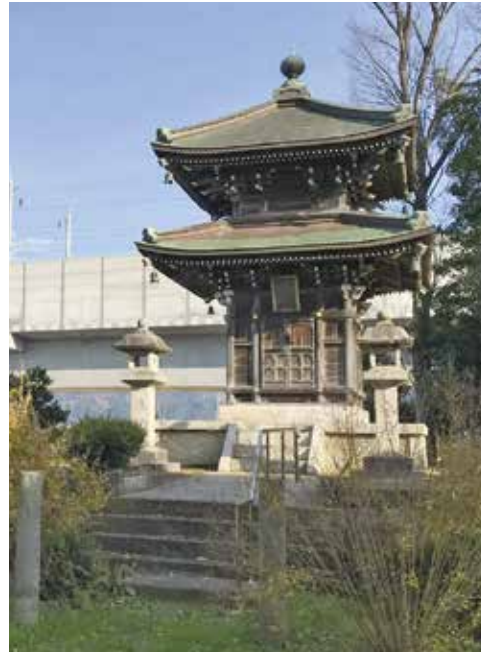
近衛連隊へ現役で入隊した。しかし戦況は次第に悪化して昭和二十年八月終戦。敗戦の混乱と福井地震など幾多の困難を乗り越えてきた。戦後は平和な時代を迎え商社マンとして健康で穏やかに過ごしています。

昭和初期から戦時中の厳しい時代、思い返すと苦しくも楽しかつた私の高椋国民学校の思い出です。

(第2部) もう一人の叔父、吉田晋さんの思い出の記録は次号に掲載します。

称念寺の境内の東側に二重の塔がある。この塔は昭和十三年（一九三八）に、日清・日露戦争や支那事変での高椋地区の戦没者（祭神二八〇柱余）の忠霊碑として建立されたが、昭和二十三年の福井震災で倒壊したため、同二十五年四月に修復再建された。また、すぐ近くの忠霊石碑は昭和十六年秋に建立されたもので、当時の高椋村長 恩地政右門の碑文が刻まれている。

毎年高椋地区遺族会が周囲の環境整備を行い、供養法要を営んでいる。詳細は別冊「たかむく玉手箱」一六頁を参照してください。
（松本盛博・記）



防災力UP! ミニ講座 第11回

地域防災計画策定を念頭に(特に地震について)

現在我々を取り巻く自然環境は、目まぐるしく変化しており、自然災害には到底太刀打ちできない事でないことも取りざたされています。このため、地域の防災計画も真剣に取り組まざるを得ないところまで追い込まれ、専門家の指導の下、各地域で計画の策定が進められています。

自然災害は、場合によっては家や町を破壊するだけでなく、コミュニティも壊し人生も破壊してしまう恐れがあります。被害を最小限に抑えるために、防災を自分事として考え、身の回りや地域の防災力を高めることが大事です。

高椋地区で想定される災害は、地震です。もし、自宅や屋内にいる時に地震が起こったら、以下の行動をとるよう心が

- けましょう。
- 地震の間 → まずは自分の身を守る
地震の直後 → 慌てずに行動する
地震の後 → 安全な場所へ避難する
- いざという時のために準備しておくことは次のとおりです。
- ① 一時避難場所や避難所を確認しておく
 - ② ご近所と顔見知りになっておく
 - ③ 防災訓練などに積極的に参加し、地域の避難マニュアルを熟知しておく
 - ④ 避難訓練、避難所運営訓練に参加し、有事の際に対応できるように、日頃から意識しておく
- (防災士 吉田幸憲)



今こそみんなで考えよう! 高椋地区の防災 (地区防災計画ワークショップの開催)

たかむくのまちづくり協議会あしん部会では、令和6年5月から、地区防災計画策定ワークショップを開催します。高椋地区の方ならどなたでも参加できます。みんなで高椋の防災について考えませんか? 日程が決まり次第、コミセンだよりでお知らせしますので、ぜひご参加ください。



各区の伝統行事

千手観音菩薩像の中御開帳(一本田)

一本田の観音院は、室町時代の終わり頃(1461年)に、永平寺の僧が乱世を救済しようと祈願し建てられました。

ご本尊の千手観音菩薩像は秘仏とされ、33年に一度の御開帳(ごかいちょう)の際のみ、お姿を拝見することができます。

前回の御開帳は平成20年(2018年)で、次回は令和23年(2041年)となります。

菩薩像を代々大切に受け継いできた一本田区では、次の世代に継承させるため、中間の十七年目にあたる今年10月22日に、中御開帳をおこないました。

法要は、丸岡・台雲寺住職により執り行われ、区民総出でお参りしました。

(山本 幸弘)



編集後記

新年明けましておめでとございませう。

今までにない怖さを体験した能登半島地震。改めて災害に対する準備の大切さを感じています。昨年は、色々な角度から健康や幸せについてよく考えさせられた一年でした。普段はつい欲しかったり、わがままや不満を言ってしまうことが、何気ない日常を送れていることが特別で大切なことだと改めて気付かされます。

感謝の気持ちを忘れずに、今年も過して行きたいと思えます。(K)

